

コンクリート専用 ひび割れ補修剤

Gel Bon

ゲルボン

水の浸入
抑制効果

中性化
抑制効果

ひび割れ
保護効果

環境
安全性

ゲルボンはコンクリート構造物のひび割れ補修専用の改質保護材です。既に発生したひび割れに対しゲルボンを注入し、その後 散水 ⇄ 乾燥を繰り返すことによりひび割れ内部にプリン状のゲルを形成して外部からの水や劣化因子の侵入を防ぎひび割れ内部を保護します。また、アルカリ付与により内部鉄筋の腐食も抑制することができます。

特 徴

- ① **コンクリートの劣化抑制** / 塩害・中性化・凍結融解等に強い。
- ② **ひび割れ閉塞性** / 微細なひび割れに対し、コンクリートと反応してゲルを形成しクラック内部を約 80% ほど閉塞させる。
- ③ **施工性** / コンクリートのひび割れにゲルボンを注入し霧吹き程度の用具を用いて散水⇄乾燥を数回繰り返すだけで誰にでも簡単に施工が可能。
- ④ **環境・安全性** / 無色透明無臭気・毒性なし・不燃性のため取り扱いが簡単。
- ⑤ **補修コスト** / 従来の有機系注入材に比べスプレー型であるため、施工が簡単で初期コストが低く維持保全費用が低減できる。

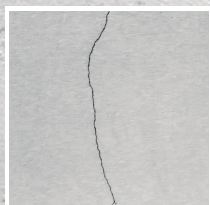


【製品概要】

主成分：ケイ酸ナトリウム
比 重：1.2 以上
pH 値：11.2 以上
外 観：無色透明・無臭気
揮発性：有害な揮発成分なし
内容量：230ml



ゲルボンひび割れ注入方法



【施工前のひび割れ】

0.1mm～0.3mm程度のひび割れ幅に適用いたします。比重 1.2 程度の溶液ですので完全な注入充填が可能ですとなります。



【ゲルボン注入】

ゲルボンのノズルをひび割れに対して垂直に当ててゆっくりと少しずつ注入して下さい。



【ゲルボン注入】

ひび割れ内部がドライな状態ではタイムラグをおきながら2回程度繰返し注入して下さい。また貫通ひび割れの場合は背面からゲルボンが流出するまで注入することが効果的です。



【湿潤散水】

ゲルボンの注入後、約1時間から2時間程度乾燥させ霧吹き程度の器具でひび割れ周辺から散水して下さい。散水処理は乾燥時間を含めながら2回程度 散水 ⇄ 乾燥を繰り返して下さい。
※(外気温 20℃の場合)

ゲルボン取り扱い注意

【ノズル未使用時の処置】



未使用時は、そのまま放置しますとノズル内部で原液が硬化して使用できなくなります。



使用後の処置として、散水時に使用した霧吹きで水と通しをするか、水が入った器に付け置きしますと何回でも使用が可能です。

火気と高温に注意

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性ガスの製品であり、危険なため、下記の注意事項を守ること。

1. 炎や火気の近くで使用しないこと。
2. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
3. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当る所や車内および火気の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
4. 火の中に入れないこと。5. 使い切って捨てること。

高圧ガス：LPG

※ご使用前に必ずSDS記載内容をご確認下さい。

業務用
PRO TOOL

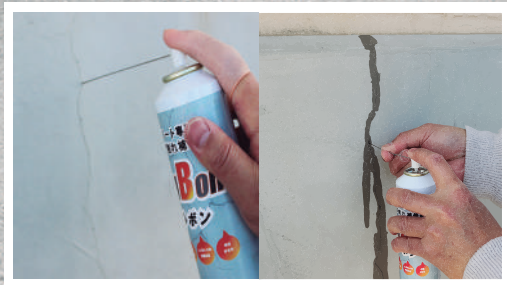
さらに…こんなことができます！！

GelBon
ゲルボン

&

コンクリートの
+ 安心補修スティック
現場の常備品 シリーズ

提供 住友大阪セメント株式会社



ゲルボンをひび割れに注入

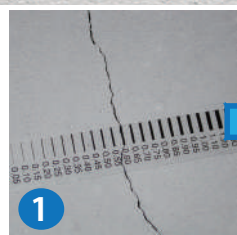


[2本入り特別パック]

自己治癒成分成分配合

詳しくは、住友大阪セメント(株) 建材事業部 製品紹介サイト
<http://www.soc-tec.com/plst/plst.html>

補修スティックのひび割れ補修方法



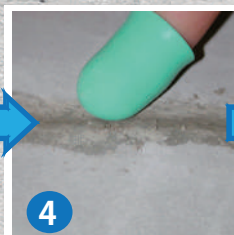
1 ひび割れ周辺や内部の粉塵等を予め除去して下さい。



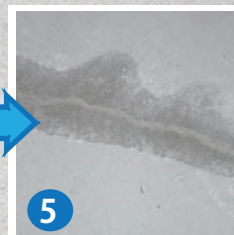
2 水分が残る程度に湿潤を行います。



3 ひび割れに対し直角方向に補修スティックを擦り込みます。



4 周辺の削り粉をひび割れ内部に押し込みます。

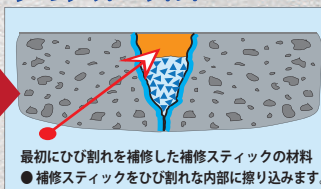


5 乾燥。約15～30分程度です。はみ出し部分をブラシ等で除去・清掃して下さい。

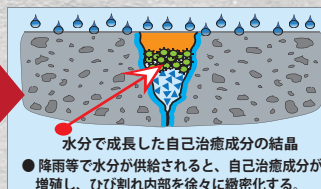
■ ゲルボン & 補修スティックのメカニズム



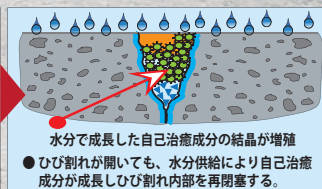
ゲルボンの反応によりひび割れ内部に改質保護層となるゲルを形成する。



最初にひび割れを補修した補修スティックの材料
● 補修スティックをひび割れ内部に擦り込みます。



水分で成長した自己治癒成分の結晶
● 降雨等で水分が供給されると、自己治癒成分が増殖し、ひび割れ内部を徐々に緻密化する。



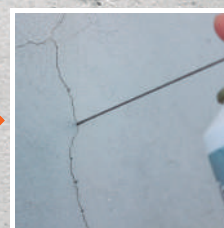
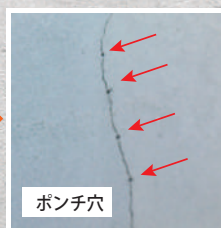
水分で成長した自己治癒成分の結晶が増殖
● ひび割れが開いても、水分供給により自己治癒成分が成長しひび割れ内部を再閉塞する。

安心補修スティックは、コンクリートのひび割れを素早く自然に美観回復する補修材として、土木・建築業界に広く浸透し、コンクリートの性能向上を目的として2013年11月より製品のリニューアルを開始し新たな性能を付与いたしました。リニューアルされた「安心補修スティック」は、補修後ひび割れが再度開いた場合でも、降雨等の水分供給によって閉塞する機能があります。また、けい酸塩系改質保護材「ゲルボン」と併用して補修することにより、コンクリートが持つカルシウム成分と補修スティックの成分とが化学反応をおこし、止水性や接着性など更なる相乗効果を生み出し今までにないひび割れ補修を実現することが出来ます。

【ひび割れ幅0.1mm以下の場合の施工方法】

ゲルボンの注入用ノズルは外径1.0mmとなっております。ひび割れ幅0.1mm以下を施工する場合は、ひび割れ部に先の細い器具を用いて約50mm間隔でポンチ穴を開けることによりノズルが密着して注入時の飛散が少なくロスを軽減して確実に注入ができます。

＜ポイント＞外径1mm程度のポンチ穴を開ける際は、あまり強く開けると欠損が生じますので、ポンチを開ける際は傷を付ける程度の軽い力で開けて下さい。



ポンチ穴

TOKUYAMA
トクヤマグループ

販売元 株式会社 トクヤマエムテック

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5

TEL:03-5643-3601 FAX:03-3249-3615

E-mail: info-mtec@tokuyama.co.jp

URL <http://k-tokuyama.co.jp>

製造元 株式会社 フォーシェル

製品情報



QR_Gel Bon